

銚子市立銚子高等学校
同窓会報
第9号

発行

銚子市春日町2689番地
TEL 0479 (25) 0311
FAX 0479 (23) 4441
市立銚子高校同窓会
発行責任者 杉山俊明
編集長 岡根重雄
印刷
三友舎印刷

同窓会総会を
終えて



同窓会会長
杉山 俊明

市立銚子高校同窓会会員の皆様に於かれまして、日頃より同窓会運営にご支援、ご協力を頂きありがとうございます。今年の夏は大変暑く、残暑厳しい日々が続いております。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。さて、市立銚子高校も再編統合されてから早九年を過ぎ、来年は十年目を迎える事となりました。合わせて我が同窓会も再編・新体制後十年となり、今日まで、信田会長、故金井会長の方針を引き継ぐ形で、新生なつ

た同窓会のあるべき姿を模索してまいりました。既にご報告いたしました様に、昨年は委員会の再構築を行い、総務、事業、広報の3委員会とし、幹事会のご協力を得て、委員長・副委員長の下、委員を選任し、各委員会で委員会の役割を考えて頂きました。そして、新年幹事会、総会の企画・運営などを各委員会が担当して行う様に致しました。

また、7月3日に行われた幹事会では同窓会運営について多くの貴重な意見を頂くことが出来ました。更に7月24日に行われた28年度同窓会総会に於いては、多くの参加者を得て、全ての上程議案をご承認頂きました。基調講演の講師には、お母様が銚子出身で銚子でも教室を開かれており、銚子に大変ご縁のある能楽師、大蔵流狂言方の大蔵彌太郎様を迎え、狂言の実演を含めわかり易く狂言につい

て講演をいただき、私達も古典芸能が身近に感じられる時を過ごす事が出来ました。

また、今回初めて現市立銚子高校の校歌を総会開会時に皆様に斉唱して頂きました。これは、統合して間もなく十年を迎え、これからの同窓会の在り方を考えるなら、新しい校歌や校旗を早く認識すべきとの意見から企画したことであり、今後も続けていこうと考えております。以前、企画した還暦同窓会はすっかり定着し、今年も多数の還暦同窓生の皆さんの参加を頂き、

担任の先生方と共に懇親を深めてくださいました。この様に、これからも同窓会を運営するにあたり、幹事をはじめ会員の皆様のご意見を広く頂き、委員会で検討を重ねながら、形に捉われず同窓会の運営ができたらと思いますので、会員の皆様にもご助言、ご参加を頂ければと存じます。



同窓会会員数(卒業生総数)

	回数	計
旧制中学校	8	668
併設中学校	2	51
旧銚子高等学校	60	18,575
普通科	48	3,500
工業化学科		
旧銚子中学・高校合計		22,794
銚子西高等学校	30	6,547
普通科	29	1,169
看護科	2	※73
(専攻科)		
銚子西高校合計		7,716
銚子高等学校	7	2,427
普通科	5	255
理数科	2	77
看護科	4	※141
(専攻科)		
総合計		33,269

※専攻科は全員本校看護科卒業生(平成28年3月)



平成28年7月24日(日)同窓会総会 懇親会に参加された皆さん(うらしま写真館様提供)



輝やかな大海に包まれ

校長 早川 昌二

リオ五輪での日本選手の活躍に沸いた夏も過ぎ、燈火親しむ頃となりました。杉山俊明会長をはじめ、同窓会の皆様には、ますます御健勝のことと拝察申し上げますとともに、日ごろ本校の教育活動に格別の御高配を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、統合して9年目を迎えた今年度、皆さまに大変嬉しいお知らせがございます。本校同窓生(旧西高、平成17年3月卒業)の加藤友里恵さんがトライアスロン競技でリオデジャネイロオリンピックへの出場を果たしました。本校関係者がオリンピックに出場するのは、東京五輪に陸上(砲丸投げ)で出場した糸川照男さん(故人)以来二人目となる快挙です。早速、杉山会長をはじめ石毛後援会長や銚子市トライアスロン協会の皆さまと相談し、6月27日に開催された壮行会では、加藤友里恵さん御本人に同窓会や後援会からは激励費を、本校からは市銚子祭に御来校いただいた市民や本校生徒による

日の丸への応援メッセージの寄せ書きをお渡しいたしました。大会では疲れ等もあり、思い通りのレース展開とはならなかったようですが、本人は大会後のインタビューで「東京を目指して頑張りたい。」と答えており、結果を真摯に受け止め、更なる努力を誓うこの姿勢には、本校生徒も大いに感じるものがあつたのではないかと思います。

一方、在校生も先輩に負けじと世界に羽ばたく活躍を見せてくれています。陸上部の玉崎稜也君がスペインで開催されたデュアスロン世界選手権ジュニアアカテゴリーに出場し、日本人では最高位の15位になりました。さらに、水泳部の飯塚千遥さんはハワイで行われたジュニアパンパシフィック大会に出場し、100mバタフライで第8位、メドレーリレー(第3泳者)で第4位という結果を残しました。本大会の直前に広島市で行われた全国高校総合体育大会でも100mバタフライで第3位という素晴らしい結果を残し、同様に100m平泳ぎで全国高校総体に出場した鈴木菜々花さんとともに第71回国民体育大会(石川県盛岡市)にも出場しました。

また、書道部では神家満綾乃さんの作品「篆書千字文」が全国高等学校総合文化祭広島大会に出品されたほか、吹奏楽部も東関東吹奏楽コンクールへの出場を果たし、東日本吹奏楽コンクール出場に向けて日々の努力を重ねております。さて、本校の設置目標は「生徒・保護者・地域のニーズに応える進学指導に重きを置く学校」「様々な教育活動の中で、生きる力と豊かな心を育む活力ある学校」ですが、学習指導では、単位制や45分7限授業や国・数・英の1クラス二分割授業がすっかり定着し、統合後8年間の大学合格実績では、国立公立大学に433名(現役合格者は92名、GMARCHに376名、成成明学・日東駒専には896名など、着実に成果を上げております。また、統合時に設置されました理科においても、1期生から6期生までで医学部医学科に国立公立大学5名を含む9名が合格し、そのうち7名が進学しております。さらに、本校ではキャリア教育にも積極的に取り組んでおり、例年実施しております「職業人講話」

な教育活動の中で、生きる力と豊かな心を育む活力ある学校」ですが、学習指導では、単位制や45分7限授業や国・数・英の1クラス二分割授業がすっかり定着し、統合後8年間の大学合格実績では、国立公立大学に433名(現役合格者は92名、GMARCHに376名、成成明学・日東駒専には896名など、着実に成果を上げております。また、統合時に設置されました理科においても、1期生から6期生までで医学部医学科に国立公立大学5名を含む9名が合格し、そのうち7名が進学しております。さらに、本校ではキャリア教育にも積極的に取り組んでおり、例年実施しております「職業人講話」

では、今年も17名の同窓生の皆さまに職業人としての在り方、社会人として求められる人間力などについてお話をさせていただきます。講師をお引き受けいただいた皆さまには、御多用のところ御協力いただき誠にありがとうございます。今後もキャリア教育を基礎的・汎用的能力の育成と捉え、自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づく主体的な行動力と、自らの思考や感情を律して進んで学び続けようとする「自己理解・自己管理能力」の涵養に向けて邁進してまいります。

平成28年度 進学状況

種別	普通	理数
国公立大学	34	19
私立大学	161	18
私立短大	10	0
専門学校	27	0

進学(合格)

(国立56) 北海道大2、岩手大1、東北大1、茨城大9、筑波大3、群馬大1、埼玉大2、千葉大5、東京海洋大1、電気通信大1、東京学芸大1、東京農工大1、山梨大1、信州大3、静岡大2、高知大2、琉球大1、秋田県立大1、秋田公立大1、前橋工大1、高崎経済大2、埼玉県立大2、千葉県立医療大3、首都大東京1、横浜市立大2、新潟県立大1、山梨県立大1、都留文科大4(私立68) 早稲田大4、慶應大1、上智大1、学習院大1、明治大6、青山学

就職

(公務員16) 国家一般職2、国家税務職2、参議院事務局一般1、神栖市役所1、千葉県警B1、千葉県警事務1、千葉県職員4、銚子市一般1、銚子市消防職初級1、東京都職員Ⅲ類1、東京都特別区職員Ⅲ類1(民間企業10) アクアルシステムインターイメント、ヤマサ醤油株式会社、株式会社クラレ鹿島営業所1、三菱化学株式会社鹿島営業所2、JX日鉱日石エネルギー株式会社鹿島製油所1、新日鐵住金株式会社鹿島製鉄所1、株式会社千葉銀行1、東京電力株式会社1、日立化成株式会社五井事業所(鹿島)1

日本高等学校選手権水泳競技



左から、飯塚(1G)・鈴木(1A)・奥田みう(2E)



2016年6月4日・5日にスペインで開催されたITU世界デュアスロン選手権に日本代表として玉崎稜也君(3日陸上部)が出場しました。今後の活躍にご期待ください。



校の教育活動へのお力添えをお願い申し上げますとともに、同窓会の益々の発展を御祈念申し上げます。

部活動名	部員数		各部の活動内容および主な結果など
	男子	女子	
野球	24	6	選手24名、マネージャー6名で甲子園をめざし日々練習に励んでいます。
陸上競技	18	14	各自が自己の目標に向け練習に励んでいます。チームとしても多くの大会で活躍できるように努力していきます。
弓道	6	17	平成27年度県選手権大会女子個人8位入賞、平成28年度関東大会県予選男子個人4位入賞、同女子個人2位入賞と、県総体女子個人2位入賞と、個人では入賞する選手が出てきました。団体戦でも良い成績を残せるよう、今後も競技力向上のため努力していきます。
剣道	4	6	関東大会県予選会では男女ともに出場し、女子は一回戦を突破しました。総合体育大会でも男女ともに県大会出場を目指し、稽古に励んでいます。
柔道	7	0	新入部員5名の加入により、毎日稽古に励んでいます。総体や新人戦での県大会出場を目指します。
卓球	8	4	関東大会及び総体の県大会に女子は団体戦・個人戦で、男子は個人戦で出場しました。さらに良い結果を得られるよう、日々努力しています。
バドミントン男子	28	0	関東大会（団体戦）で地区予選を勝ち抜き、県大会初勝利を取ることができました。新人戦での県大会出場を目指して、練習に励んでいます。
バドミントン女子	0	20	関東大会（団体戦）で地区予選を勝ち抜き、県大会に出場することができました。
ソフトテニス	11	16	関東大会予選では個人・団体ともに出場はなりません。現在は新人戦に向けて練習に励んでいます。
バスケット男子	22	0	2年生13名、1年生9名の22名で11月の新人戦に向け日々練習に取り組んでいます。
バスケット女子	0	12	新人大会に向け、チーム一丸となって頑張っています。近年、県大会に出場していないので、必ず出場権を勝ち取りたいと思います。
サッカー	45	4	関東大会は出場できませんでしたが、県総体はブロックを勝ち抜き県大会へ出場します。5月末の県大会・7月末の選手権大会では、一つでも多く勝てるよう頑張ります。
ラグビー	2	1	7人制では、県大会予選リーグを突破し、決勝トーナメント（ベスト16）へ進出しました。
硬式テニス	17	18	男女ともに、団体戦で県大会に出場。団体戦で、県大会ベスト16を目指しています。
バレー男子	14	4	関東予選は地区大会敗退でしたが、6月下旬の県大会（総体予選）は1回戦を突破！新チームも県大会ベスト8を目指します。
バレー女子	0	6	6月18日の総体（県大会）では、1回戦を突破したものの、2回戦で惨敗。県大会で勝負できるチームをめざし日々練習中です。
空手道	8	4	新人戦地区予選 女子団体組手優勝、女子個人組手第2位 部員も増え、県大会ベスト8、全員初段取得を目指し猛稽古中です。
水泳	0	5	近隣の室内プールや他校のプールで練習を実施しています。関東大会出場（50m自由形（2位）・100mバタフライ（優勝）・100m平泳ぎ・200m平泳ぎ・400mメドレーリレー）、全国総体（インターハイ）出場（50m自由形・100mバタフライ・100m平泳ぎ）。2名が国民体育大会千葉県代表に選出、うち1名がジュニアパンパシフィック大会日本代表に選出されました。
吹奏楽	0	23	7・8月に行われた千葉県吹奏楽コンクールの予選・本選を上位で抜け、9月に行われた東関東大会に出場しました。
美術	0	11	油彩画、水彩画、ペン画、立体などの作品制作をしています。文化祭、千葉県高等学校総合文化祭、東総地区美術部展に作品を発表します。
書道	1	18	文化祭では、作品展示と書道パフォーマンスをおこないます。古典の臨書を大切にしつつ、新しい活動にも積極的に取り組んでいます。全国高等学校総合文化祭、出品。
華道	0	18	文化祭や小原流花展に作品を展示しています。また、東京地区のいけばな競技会にも参加し、優秀な成績を修めています。
茶道	0	20	文化祭では、お茶会を催します。現在は1年生9名、2年生11名の20名でお点前の練習に励んでいます。
演劇	3	1	春、秋の地区大会、文化祭、クリスマス公演など多数の公演をおこなうため、日々練習に励んでいます。部員がみな力を合わせ、一つの劇を作り上げます。
写真	4	3	文化祭では「お気に入りの一枚」を展示。冬の全国サッカー選手権千葉県大会で学生写真係として大会の記録写真を撮影。プロ写真家の指導によるワークショップを実施。
科学	22	14	文化祭では、各班（物・化・生・Kids）に分かれて発表・演じました。今年度は、春に孵化した200匹のウーパールーパーのお世話を中心に活動しています。
文芸	5	25	4月に部誌を発行、今後も年数回の発行予定。文化祭では、作品の展示・販売、部誌展示、短編アニメを制作上映。7月には東総地区合同漫画展に参加しました。
英語	1	4	週2回の活動では、各自自分の課題に取り組んだり、みんなで映画（洋画）鑑賞したりします。文化祭にも参加しました。
JRC	1	22	文化祭では手作りのアクセサリーの販売を行い、売り上げは寄付しています。普段は、ワクチンに換わるペットボトルキャップ集めや、老人ホーム慰問に行ったりしています。
家庭	0	10	月1～2回程度の活動を通して、様々なお菓子作りに挑戦しています。文化祭では毎年恒例の手作りお菓子を販売しています。
生徒会本部	6	2	生徒の皆さんの代表として、様々な学校行事のとりまとめや、式典のお手伝いをします。一昨年から、校内美化にも取り組み、急な雨には傘の貸し出しもしています。
合計	186	264	※部員数は1・2年生



吹奏楽部が2年連続で東関東大会に出場



神家満綾乃さん(3D)の作品が全国高等学校総合文化祭書道部門に出品されました。



水泳部の飯塚千蓮さん(1G・100mバタフライ3位)・50m自由形と鈴木菜々花さん(1A・100m平泳ぎ)がインターハイに出場しました。飯塚さんは、ハワイで開催されたジュニアパンパシフィック大会にも日本代表として出場しました。

平成28年度 同窓会 会計

(単位 円)

収入金額	5,440,000
支出金額	5,440,000
差引残高	0

収入の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	前年度決算額
1 入会金	1,288,000	1,248,000
2 会費	1,000,000	1,254,110
3 寄付金	0	50,000
4 同窓会基金	2,000,000	0
5 繰越金	1,151,247	1,413,764
6 雑収入	753	132
収入合計	5,440,000	3,966,006

支出の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	前年度決算額
1 卒業記念品	200,000	178,234
2 行事補助費	100,000	70,000
3 会運営費	100,000	49,162
4 会議費	100,000	58,313
5 委員会費	50,000	6,000
6 記念品費	250,000	190,000
7 接待交際費	100,000	52,400
8 印刷費	600,000	493,776
9 通信運搬費	1,250,000	1,086,118
10 奨励金	100,000	30,000
11 慶弔費	50,000	0
12 同窓会基金	2,000,000	500,000
13 予備費	200,000	100,756
14 繰越金	340,000	1,151,247
支出合計	5,440,000	3,966,006



平成28年度 同窓会基金 会計

(単位 円)

収入金額	17,493,000
支出金額	2,000,000
年度末残高	15,493,000

収入の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	前年度決算額
1 繰越金	15,491,240	14,988,895
2 積立金	0	500,000
3 財政調整基金	2,000,000	0
4 雑収入	1,760	2,345
収入合計	17,493,000	15,491,240

支出の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	前年度決算額
1 繰出金	0	0
2 財政調整基金	2,000,000	0
支出合計	2,000,000	0



同窓会 REPORT



7月24日(日)、午後3時から、講演会、懇親会の順で開催されました。総参加者105名。講演会はご母堂様が市立銚子高校出身の狂言師、大蔵彌太郎千虎氏が「能楽、狂言にふれてみませんか」と題して、講演、実技指導をされました。総会では平成27年



講演は狂言師の大蔵彌太郎千虎氏



度の事業、決算の承認と平成28年度の事業計画、予算が承認されました。また、執行部役員が一部改選され新たに東京支部長になられた篠塚保さんが副会長に任命され、顧問の教頭が代わるなど4名の執行部役員の役職に変化がありました。懇親会は滑川藤彌さんの乾杯の御発声により始まり、和やかに、たいへん盛り上がりました。同時開催の還暦同窓会には48名が参加されました。

平成28年度 同窓会事業計画

3月8日(水)	3月7日(火)	2月	11月	9月30日(金)	7月24日(日)	7月3日(日)	6月5日(日)	5月13日(金)	4月22日(金)	4月7日(木)
卒業証書授与式	同窓会入会式	(幹事委嘱式含む) 地元幹事会	第3回執行部会議 (幹事会・総会の総括 講師の選定・予約)	「同窓会だより」(第9号) 発行11,000部	総会 16時(事業・会計・その他について) 懇親会 17時(還暦同窓会・昭和50年卒)	講演会 15時 講師 大蔵彌太郎千虎氏 演題 「能楽、狂言にふれてみませんか」	東京支部総会 第1回幹事会 (事業・会計・役員・総会他について) 第2回執行部会議 (総会について)	(役員、幹事会、総会、同窓会だより、他について) オーラム(御徒町) 13時30分、本校	第1回執行部会議 銚子プラザホテル	入学式 本校

平成28年度 同窓会役員

役職	指 名	卒年	役職	指 名	卒年
会長	杉山俊明	昭和44年	会 計	来栖真吾	平成12年
副会長 (東京支部長)	篠塚保	昭和43年	会 計	亀山綾	平成17年
副会長	平野恭男	昭和45年	会計監査	加瀬隆良	昭和61年
副会長	大木乃夫恵	昭和45年	会計監査	伊東光彦	平成2年
副会長	江畑雅充	昭和45年	総務委員長	平野恭男	昭和45年
副会長	伊勢崎翼	昭和47年	広報委員長	岡根重雄	昭和52年
副会長	島田洋二郎	昭和48年	事業委員長	島田洋二郎	昭和48年
副会長	浅野裕子	昭和54年	顧問	西川照幸	昭和18年
副会長	高野幸夫	昭和56年	顧問	信田臣一	昭和38年
副会長	伊東均	昭和56年	顧問	宮内敏	昭和36年
副会長	笹本尚子	昭和56年	顧問(校長)	早川昌二	
事務局長	嶋田敬則	昭和62年	顧問(教頭)	平山公治	
事務局次長	岡根康裕	昭和53年	顧問(教頭)	生駒光弘	昭和57年
			顧問(事務長)	高森良文	昭和56年

職業人講話 1年生を対象とした、卒業生による職業に関する授業が行われました。講師の皆さんです。(敬称略)

番号	業種・系統	お名前(敬称略)	所 属
1	公務員・税務	野本 光太郎	千葉県教育庁教育総務課
2	研究者・太陽光発電研究	菅谷 武芳	独立法人産業技術総合研究所 太陽光発電工学研究センター
3	芸術・オペラ歌手	越智 まりこ	藤原歌劇団
4	医療・看護師	田中 紘明	東邦大学医療センター 大森病院
5	医療・医師	伊良部 真一郎	千葉労災病院
6	工業・化学製品生産	向後 秀夫	三菱化学 鹿島事業所
7	公務員・自衛隊	浦上 大介	防衛省 自衛隊
8	金融・保険	中村 雅子	東京海上日動火災保険株式会社
9	通信業・営業	山田 勇太	ソフトバンク株式会社
10	J R・J R 職員	椎名 通	J R東日本
11	公務員・消防士	高木 大造	旭市消防本部
12	公務員・小学校教諭	大家 伸啓	銚子市立海上小学校
13	商社・営業	工藤 幸介	原田産業株式会社
14	航空・パイロット	鈴木 嘉彦	AIRDO

少子化、過疎化の進展等昨今の学校を取り巻く環境は厳しいものがありますが、幸いにも市立銚子高校は、早川昌二校長先生はじめ教職員の皆様のご努力で進学、部活動、キャリア教育等の面で素晴らしい成果を上げ、益々発展してきて



キャリア形成等に大きなインパクトを持つように思います。市立銚子高校が志をもち知徳の備わった有為の人材を育てるかけがえのない学舎として更に発展していくことを願っております。

東京同窓会支部長就任にあたり
この程、同窓会東京支部長を務めることとなりました昭和43年卒業の篠塚保と申します。微力ながら同窓会の皆様のご理解とご協力を得て東京支部の発展に向けて努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



6月5日(日)、東上野「オーラム」にて、午後3時から、総会、講演会、懇親会の順で開催されました。参加者は約110名。新たに東京支部長として篠塚保さんが選出されました。

東京同窓会

いることは嬉しい限りです。本年8月のリオ・オリンピックにはトライアスロン競技に加藤友里恵さんが出場されました。1964年の東京オリンピックに砲丸投げの糸川照雄さんがお山から初めて出場されて以来52年ぶりの快挙です。我々OBとしても大変嬉しいことですが、特に現役の学生には大きな目標、刺激になることと思います。私事で誠に恐縮ですが、当時波崎一中で野球をやっていた私も糸川さんの出場に心を動かされた一人で、高校から陸上競技を始めるきっかけとなりました。

終身会費納入者一覧

会費の納入をお願いします 年会費 1,000円

振込先：郵便局 口座名：銚子市立銚子高等学校同窓会 口座番号：00100-2-189041

平成27年9月より平成28年8月まで納入分 (卒業年順・敬称略)

一年は早いものです。つい忘れがちなので是非この機会に終身会費をお願いします。(10,000円)

昭和20年卒 川崎 亮	梶山 浩行 昭和35年卒 矢後 和夫	鈴木 正道 昭和41年卒 向後 一郎	昭和47年卒 (伊藤)千葉悦子	鈴木 和寿 (高橋)安田すみ江	(湯浅)鈴木幸恵 (徳元)鈴木真理絵	平成9年卒 岡野 暁	金子 綾花
昭和23年卒 田杭 國男	箕輪 武 昭和36年卒	(関根)石井保子 昭和43年卒	西廣 安弘 昭和49年卒	石毛 宏典 當金 泰光	山本 直志 飯嶋 康順	平成11年卒 宮本 武	加藤 優莉佳
昭和26年卒 山崎 信義	須之内 征也 昭和37年卒	(畠野)石井登貴子 昭和44年卒	石橋 一裕 椎名 克明	當金 泰光 昭和52年卒	武田 寛之 戸村 美穂子	平成16年卒 高野 大助	向後 将太
昭和27年卒 楠本 智秋	今関 恭治 昭和38年卒	篠塚 保 昭和44年卒	鈴木 準一 江波戸 安衛	関根 寿典 田中 豊明	嶋田 敬則 昭和63年卒	平成20年卒 飯森 祐太	越川 真帆
昭和30年卒 (宮内)秋元賢二	(渡辺)今井昭次 昭和38年卒	青柳 利栄子 (家田)家田真理	鈴木 秀明 昭和50年卒	駒崎 達也 小田島 千夏	山本 健二 山口 求	平成21年卒 飯島 悠介	今那 美貴
昭和32年卒 佐藤 正夫	宮内 史男 生駒 文俊	(小林)阿久津春枝 (原)篠塚美代子	鈴木 準一 江波戸 安衛	関根 寿典 田中 豊明	戸村 美穂子 昭和62年卒	平成26年卒 田中 紘明	林 直哉
昭和33年卒 錦織 保夫	山口 傳 野中 邦夫	(原)篠塚美代子 宮崎 克俊	鈴木 準一 江波戸 安衛	田中 豊明 駒崎 達也	嶋田 敬則 昭和63年卒	平成27年卒 山口 華穂	平成27年卒 山口 華穂
昭和34年卒 浪川 雄造	野中 邦夫 昭和39年卒	(鈴木)石毛澄江 外口 健一	鈴木 準一 江波戸 安衛	石崎 義晴 磯村 政保	戸村 美穂子 昭和62年卒	平成28年卒 山本 直美	山口 華穂
	中嶋 壽 名雪 勝子	清水 正幸 (鈴木)石毛澄江	鈴木 準一 江波戸 安衛	磯村 政保 片桐 雅明	嶋田 敬則 昭和63年卒	平成29年卒 鈴木 慧	上原 明莉
	内山 由紀子	木戸秋 進 小松 俊行	鈴木 準一 江波戸 安衛	(淡路)泉美千代 昭和59年卒	嶋田 敬則 昭和63年卒	平成30年卒 田中 紘明	今野 修平
			鈴木 準一 江波戸 安衛	新保 敏 高橋 敬雄	嶋田 敬則 昭和63年卒	平成31年卒 鈴木 慧	竹林 瑞季
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成32年卒 山本 直美	大和田 恭平
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成33年卒 山本 直美	中村 彩乃
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成34年卒 山本 直美	湯浅 智暁
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成35年卒 山本 直美	稗田 翔大
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成36年卒 山本 直美	小野 京介
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成37年卒 山本 直美	鹿島 綾乃
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成38年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成39年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成40年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成41年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成42年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成43年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成44年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成45年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成46年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成47年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成48年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成49年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成50年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成51年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成52年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成53年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成54年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成55年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成56年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成57年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成58年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成59年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成60年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成61年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成62年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成63年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成64年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成65年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成66年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成67年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成68年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成69年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成70年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成71年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成72年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成73年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成74年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成75年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成76年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成77年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成78年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成79年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成80年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成81年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成82年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成83年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成84年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成85年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成86年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成87年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成88年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成89年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成90年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成91年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成92年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成93年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成94年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成95年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成96年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成97年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成98年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成99年卒 山本 直美	
			鈴木 準一 江波戸 安衛		嶋田 敬則 昭和63年卒	平成100年卒 山本 直美	

あの人・この人

P.S. 元気でですか？

私と弓道…夢と目標



土佐 正明 (S43年卒)

昭和40年4月にインターハイに行けるぞと誘われて弓道部に入部以来、今日まで弓道と共に歩んで来ました。

この半世紀の間に夢であった全日本選手権で天皇盃と目標であった八段合格が実現できました。

「継続は力なり」という言葉があります。弓道は、直ぐに覚えられるのではなく、たゆまぬ努力の積み重ねによって徐々にレベルアップしていくもので、焦らず、慌てず、ゆったりとした気持ちで取り組むものです。

私は師である柴田猛範士に出会い、技は勿論のこと人として歩む指針ともいえる「長幼の序」を教えていただき、修練を重ねています。

柴田範士から指導を受けて平成12、18年に全国弓道大会教士

の部優勝2回、3位1回に平成9年、27年に全日本近代的弓道選手権大会優勝2回(天皇盃)、3位1回、4位1回、最優秀技能賞4回と全日本遠的弓道選手権大会4位1回という結果を残すことが出来ました。

昨年の全日本選手権大会は、柴田範士ご自身が昭和55年に伊勢神宮弓道場で賜杯を手に入れた地で、柴田範士が全日本弓道連盟会長になられて初の全日本選手権大会であり、私は最高の射を引き恩返しをしたいと大会に臨みました。

また、伊勢に発つ1週間前に射に悩んでいた私に、妻から八段に相應しい射を引いて、天皇盃を目標にして下さいと助言がありましたから、淡々と迷いもなく射を引いた結果、2度目の天皇盃を師である柴田範士から手渡され、生涯で一番の感激でした。

八段には、平成25年7月仙台で合格しました。目標の八段になり、八段の射をいつまでも体現できるよう稽古を怠らず、周囲からの助言に耳を傾けながら、柴田範士の指導と私の射の全てを知っている妻の的確な助言を信じ、修練していく所存です。

またこれからは、大勢の弓友達と弓道を楽しみながら、そして後輩を育て、弓道界発展のため

め少しでも尽力できればと考えています。

夢をカタチに



藤崎 豊 (S46年卒)

突然スマホの着信音が鳴りだしたのは、梅雨の合間の暑い昼下がりでした。高校の先輩から同窓会便りの執筆依頼でした。残された時間の中で今まで歩んできた人生を振り返る良い機会かもしれない、という思いでお引き受けしました。

私がおやまに入学したのは昭和43年1968年でした。当時おやまには普通科と工業化学科の2つの学科があり、さらに普通科は2年次から就職一般コース、文化系進学コース、理数系進学コースに分かれています。家の事情もあり入学時から就職と決めていましたので就職一般コースを希望し、大学受験の厳しさも経験することなく学校幹旋で日立製作所ソフトウェア工場に就職しました。この頃、まだコンピュータが一般に普及しておらずHITC8000シ

リーズという汎用機を扱っていましたが、システムの値段が億単位という時代でした。会社名を尋ねられたとき、ソフトウェアの意味を説明するのに苦労した事を覚えています。入社後担当したのがマルス(国鉄の座席予約システム、通称みどりの窓口)、慣れないプログラム言語とシステム開発に悪戦苦闘しました。後に知ることに

なりますが、マルスの開発ストーリーはNHKのプロジェクトX「100万座席への苦闘」で紹介されてきました。DVDを見ると懐かしいプロジェクトの面々が登場します。マルスを皮切りに三和銀行のバンキングシステム、新幹線運行管理システム(COMTRAC)などを担当し、1980年日立を退社し

千葉県教員となりました。千葉県では四街道高校、八街高校、東金商業、教頭として佐倉東高校(定時)、千葉商業、校長として東金商業に勤務、2012年に退職、現在に至っています。人生の中で、もし将来を決定づけるような言葉があったとすれば高校時代部活の顧問であり進路指導を担当していた中村先生の「大学へ行きなさい」の一言でした。社会人生活2年目から大学へ通い始めましたが、大

学と会社の両立には多くの軋轢がありました。しかし夜間定時

制高校に通いながら看護士を目指す生徒達との教育実習体験は、その後の人生の選択に大きく影響したように思います。

最後の勤務校となった東金商業では、自身の夢と経験から「夢をカタチに」をキャッチフレーズとしました。生徒達が夢を持ちその実現を目標に人生を歩んで欲しいという思いからです。新しい制服、新しい校舎で過ごす現在のおやまの生徒達にも夢のある豊かな人生を歩んで欲しいと願っています。

銚子スポーツタウン構想 西高校の利活用



小倉 和俊 (S59年卒)

オリンピック金メダルニュース真つ盛りの中、スポーツの力の凄さを感じながら原稿を書き始めました。私は、スポーツ交流による銚子市の経済の活性化を目的に、仕事とは別に、2年程前に先輩や仲間と一緒に、NPO法人銚子スポーツコミュニティを設立しました。お山時代は3年間どつぷりとラグビーにつきり、高校時代は団体でベスト8まで進むことが出来まし

た。このことは後々私の人生に大きく関与しています。今でもトレーニングとNPO活動とスポーツ漬けの日々が続いています。

構想の内容は、5年前に廃校となった「市立銚子西高校」をスポーツ合宿施設として活用する計画です。甲子園にも出場した高校のグラウンドは広く、ネットなどを手直しすれば十分に活用できます。部室棟は鉄筋コンクリート造りで24部屋もあり、1部屋15畳と適度な大きさです。ここを宿泊棟としてリニューアルさせ152人の定員を考えています。将来的には、巨大な3階建体育館を再生させたいと思います。スポーツ施設を目の前にした宿泊施設です。他には無いような環境の施設となる予定です。この施設を地域の方々にも活用頂き、都会からの合宿利用者に銚子特産の農産物や海産物を提供し、銚子市を全国にアピール、地域に賑わいをもたらせます。この経緯に至る理由は、NPO活動の中で、元ロッテで大活躍し、銚子に戻って来られた木樽正明さんと野球のまち復活と意気投合して、西高を視察に行き、あまりの綺麗さに驚き、利用可能な施設を活かすことが、銚子市の活性化に結び付くと確信したからです。

銚子市では毎年人口が1,000人も減少し、今では64,000人と人口減少に歯止めがかりません。スポーツの力により、都会から多くの方々に銚子に来て頂き、活性化させたいと願っています。銚子市役所の方々にも大変な尽力をいただいています。主力は民間の活力です。多くの方々に関係することにより活性化の輪を大きくしていきたいと思っています。興味のある方は <http://www.choshi-sports.com/> をご覧ください。よろしくお願ひします。

認知症を予防したい



澤田 昌子 (H2年卒)

私は昨年7月より、銚子大洋自動車教習所で高齢者の交通事故を減らすための新しい取り組み「認知症予防トレーニング」の部門の仕事をしています。

地元銚子も日本の多くの地域の例にもれず、既に超高齢化社会に入りました。今私は「認知症を予防して、先輩方やそのあとに続く私たちが、いつまでもイキイキと、いかに自分らしく

暮らしていくか」について、毎日向き合っています。

これは、自分が高校生の頃には想像もなかった方向の仕事です。私が高校を卒業した26年前には、「認知症」という言葉はありませんでした。当時は「痴呆症」と呼ばれていて、今のように「誰でもなるかもしれない身近な病気」ではなく、「特別な病気」だったように記憶しています。考えてみると、例えば「癌」という病気も、私が高校生の際には「家系だから」というように、「誰でもなる病気」とは考えられていなかったように思います。ですが、今では「癌は誰もがなる可能性のある病気」として認識されています。そして、認知症も「誰でもなる可能性のある病気」として、ここ最近、急速に知られてきています。

認知症は発症までに20年〜25年程かかるとも言われていますが、このような中で「認知症予防」の研究から、生活習慣病を予防することが認知症を予防すること、大きく重なることわかったようです。そして、生活習慣病予防との相違点は、「脳への血流を増やし、脳を活性化すること」だそうです。

私は医学を修めたわけではないので、様々なところで発信される情報を集め、「どうしたら、

なるべく認知症にならずに、この先の人生を自分らしく暮らしていくか」を考えています。いろいろ見ていく中で、最近の傾向として「個人の子防への意識と取り組み」が活発になってきていると強く感じます。

テレビでも、ほぼ毎日のように認知症について放送され、本や雑誌も多く出版されています。それだけ社会全体の「認知症」に対する意識が高まっているというところも感じています。

人間の中枢である「脳」の中の事ですが、「自分の人格さえもどう変化するかかわらない病気」だから、出来れば「認知症になりたくない」と多くの人が考えています。そして、私もその一人です。

「認知症」という病気で大切なことは、「予防することの大切さ」と「認知症になっても、自分らしく生活していくための環境づくりの必要性」です。家族や隣近所・友人

などの身近な人との関係性と、個々人の意識で「認知症が怖くない」明日が来ると考えています。

私の母校のある、地元「銚子」と、友人たちも多くいる近隣の関わりの深い地域の、これからの未来が明るく、みんなが楽しく住める場所になるよう、私の今出来ることをしていきたいと思ひます。

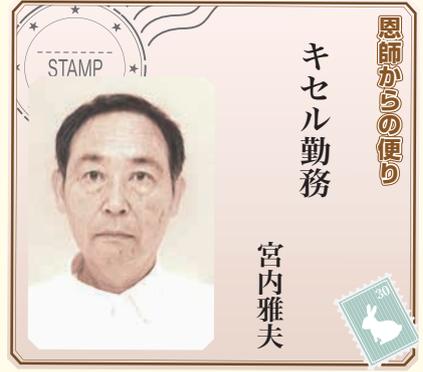


平成28年1月2日 学年同窓会(昭和48年卒)於 太陽の里 別邸 海と森

恩師からの便り

キセル勤務

宮内雅夫



私が銚子西高に勤務したのは、創立二年目からの四年間と十六年目からの十年間、計十四年の「キセル勤務」でした。キセルにあやかり「火と煙の思い出」を少し書いてみます。

私は科学部の顧問で、部員は紙製のロケットを作って居ましたが、やがて彼らは硝酸カリウムとマグネシウム末が一对一という何とも珍しい火薬を開発しました。「西高火薬」ともいうべきこの奇妙なレシピにより、ある日、紙ロケットはグラウンド横断の大飛行に成功したのです。数年後、金杉教諭が県の理科部会で



「温度の上昇により硝酸カリウムの熱分解が起きたと思われる」と発表しました。酸素ガスと窒素ガスの噴射、大いに納得した次第です。

体育祭は新設校にもかかわらず、はじめから「敬老席」のある公開形式でした。剣道部と科学部で聖火台を作りました。沼橋建設さんに貸していただいた足場に金網をはり、杉の枝を挿しました。燃料は薪でした。聖火の最終ランナーが白煙を引きながら入場すると、「猿田神社で採火され：：」というアナウンスが流れましたが、実際は校門付近で丹教諭がライターで火を付けたものでした。トーチが高価であったことも理由の一つでしたので、翌年、科学部がコーラの空缶でトーチを作りました。そして、本当に猿田神社で御神火をいただいてリレーが行われたことでした。

文化祭の前夜祭では仕掛け花火です。科学部だけでは人手が足りず、二年生のLHRの時間に助けてもらいました。ヘンデルの「王宮の花火の音楽」が妙にマッチしてなかなかでした。二回目は「西高万歳」と文字で仕掛け、発色もよかったのですが、サッカーのコートにセット

したものですから網に穴があいてしまい、大目玉を頂戴したことでした。

その後、私は成東高校に転勤になりました。そこには「伝統」と言う名のもう一人の校長がいて、新設校との違いに大変驚きました。

十一年後、西校はすっかりできあがっていました。火の思い出は、化学室の白い石油ストーブです。特に冬休みの補習は、大きなヤカンに湯が沸いたところで休憩になる約束でした。ある年の元旦の朝のこと。いつものように登校すると、警察官が待つて居ました。不機嫌でした。

「宮内センセってあなた?」「はい：：」「あなたねえ、何で元旦から勉強すんの?」「すいません：：」どうやら補習参加の生徒たちが、初日の出を屋上から見たまではよかったです。寒さに耐えきれなくなつて校内に入ったアラームが鳴つたというこのようでした。あの日は誰かが餅を持ってきていてストーブで焼いていたように思います。あのストーブの火力がもうちよつと弱かつたら寒かつたでしょう。逆にもう少し強かつたら眠くなつたと思います。たくさん受験生があので、ストーブから飛び立ちました。

加藤友里恵さん(市立銚子西高校・平成17年卒業)がトライアスロン競技日本代表選手としてリオデジャネイロオリンピック出場されました。写真は6月27日に銚子プラザホテルで行われた壮行会の時のものです。市立銚子高等学校同窓会からも応援メッセージを添えた日の丸を贈呈いたしました。



還暦同窓会(昭和50年卒)中央は中嶋先生・星野先生